

目薬の点し方

◇基本的な点し方

①せっけんと流水で手をきれいに洗う



②下まぶたを軽く下に引き、1滴のみ点眼する



※このとき、容器の先端がまぶたに直接触れないようにしましょう。触れたときは、ティッシュなどで容器をきれいにふき取ってください。

③あふれた余分な点眼液を拭き取る



④そのまままぶたを閉じて1分ほど待つ



※まばたきによって点眼液が目頭から全身に流れてしまうため、点した直後はまばたきしないようにしましょう。

◇**げんこつ法** 手元が不安定でうまく点せない方におすすめです

せっけんと流水で手を洗います。

片方の手でげんこつをつくります。

げんこつを下まぶたにあて、軽く下に引きます。

げんこつの手の上に、点眼容器を持つ手をのせ、1滴を点眼します。



それでも難しく感じる方に・・・**点眼補助具**があります！

目に容器が直接当たることなく適切な距離を保ち、正確な位置に点眼することができます。



◇**目薬を点す順番**

水溶性点眼薬→懸濁性点眼薬→ゲル化点眼薬→眼軟膏の順に点します

水溶性点眼液

一般的な点眼薬。有効成分が水に溶けやすく安定している。

例) クラビット点眼液、ブロナック点眼液、ジクアス点眼液

懸濁性点眼液

有効成分が水に溶けにくいいため、点眼前に振ってから使う。

例) アゾルガ配合懸濁性点眼液

ゲル化点眼薬

点眼後ゲル化することで滞留時間を長くしている。

例) チモプトールXE点眼液、リズモンTG点眼液

眼軟膏

有効成分が水をはじきやすいため最後に使用するのが望ましい。

例) タリビット眼軟膏、エコリシン眼軟膏